

海辺の島根町



松江市島根町
まち歩き散策マップ

ACCESS

JRで
岡山—松江 ●150分(やくも)

飛行機で

東京—出雲空港 ●90分(日本航空)
東京—糸子空港 ●90分(全日空)

クルマで

山陰自動車道 松江JCTより 30分
米子空港より 60分
出雲空港より 60分
JR松江駅より 30分

バスで

JR松江駅よりバスにてマリンゲートしまね下車後、
島根コミュニティバスに乗り換え
●島根コミュニティバス TEL0852-55-5720



●お問い合わせ先●

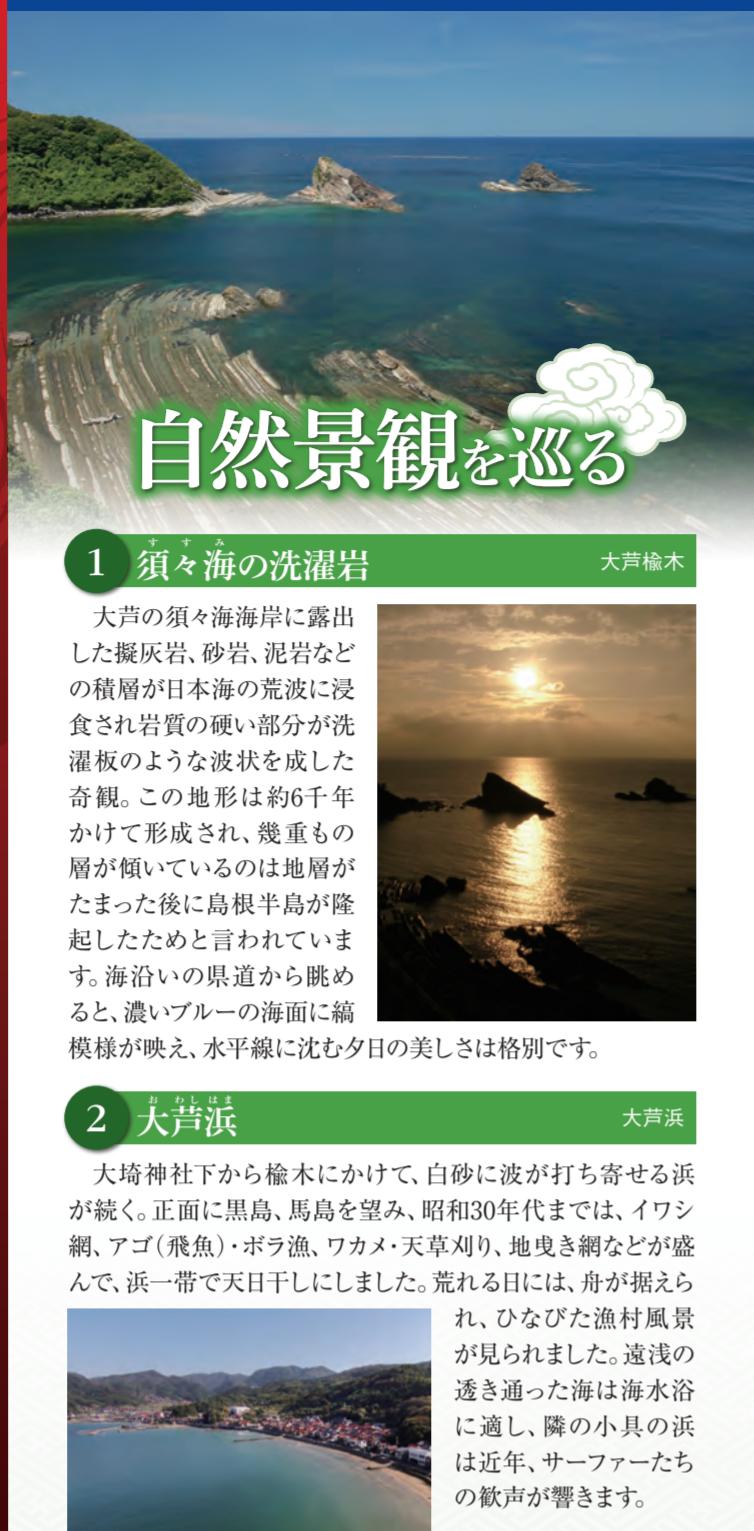
松江市島根公民館
松江市島根町加賀1414
TEL0852-85-2301
(9:00~17:00 土・日・祝日休館)

マリンプラザしまね
TEL0852-85-9111

松江観光協会島根町支部
TEL0852-55-5722

作成: 平成24年3月 改訂: 平成29年1月

島根地区わがまち自慢发掘プロジェクト実行委員会



1 須々海の洗濯岩

大芦榆林

大芦の須々海岸に露出した擬灰岩、砂岩、泥岩などの積層が日本の荒波に浸食され岩質の硬い部分が洗濯板のような波状を成した奇觀。この地形は約6千年かけて形成され、幾重もの層が傾いているのは地層がたまた後に島根半島が隆起したためと言われています。海沿いの県道から眺めると、濃いブルーの海面に縞模様が映え、水平線に沈む夕日の美しさは格別です。

2 大芦浜

大芦浜

大崎神社下から榆林にかけて、白砂に波が打ち寄せる浜が続く。正面に黒島、馬島を望み、昭和30年代までは、イワシ網、アゴ(飛魚)・ボラ漁、ワカメ・天草刈り、地曳網などが盛んで、浜一帯で天日干しにしました。荒れる日には、舟が据えられ、ひびいた漁村風景が見られました。遠浅の透き通った海は海水浴に適し、隣の小具の浜は近年、サーファーたちの歓声が響きます。

3 弁天島

大芦小具

大芦の小具湾内の島に鳥居、宮、自然石を積み上げた灯籠があり、石橋を渡って歩いて行けます。弁天島は本来、仏様の尊閣ですが、日本では神道の神ともみなされ、七福神の一員とされています。海神に農業神、穀物神が融合したと言われ、また元来インドの河神であることから、水辺や島、池など水に深く関わりのある場所に多く祀っています。

4 大川桜と蛍の名所

大芦

大芦・小具区を流れる大川(森田川)沿いの約1km間に平成20年3月「大川桜クラブ」の会員が八重桜150本を植え整備しています。夏には無数の蛍が乱舞する光景が見られ、新しい蛍名所として地域住民に親しまれています。

5 市原運動公園(島根総合公園)から大城山公園登山口までの景観

大芦

大芦の市原運動公園(島根総合公園)展望台から望む日本海は、彼方に隱岐島が望める絶好の景観スポットです。林道を行く途中に大木の「将軍桜」と、1株から6本の大木の幹が伸びる「天狗桜」があります。ヤマザクラより花の色が濃いのが特徴でここから眺める海と桜のコントラストが素晴らしい、時季には多くの見物客が訪れます。市原運動公園(島根総合公園)から約4kmの地点に大城山への登山口があります。

島根県の東部、海と山に囲まれた自然豊かな島根半島。その中ほどに位置するのが、私たちの島根町です。出雲國風土記に記述のある「鷦根郡」と、県の名をそのまま町名とした『島根町』は、国引き神話にも登場する歴史の町です。有形無形の文化財や多くの伝統行事が、今に息づいています。

かつて小泉八雲も訪れた加賀の潛戸など多くの洞窟があり、大山隠岐国立公園、宍道湖北山県立自然公園に指定されています。また、リアス式の海岸線沿いに桜並木が続くチエーロードは、青い海との見事なコントラストを描き出す桜の名所です。

この「まち歩きマップ」を手に、町内を楽しんで巡っていただこうと願っています。

マリンパーク多古鼻 12

多古

沖泊浦 13 多古の七つ穴

瀬崎成 14 羅佐加志能為神社 15 日御崎神社 16 綱掛けの松

瀬崎 17 羅佐加志能為神社 18 御輪盲塚 19 松江鹿島美保関線

野井 20 里路川 21 千鈞路川 22 高浜山 23 見徳寺 24 詰坂山 25 詰坂トンネル

新潜戸(神潜戸) 26 旧潜戸(仮潜戸) 27 加賀浦 28 潜戸遊覧船 29 桂島海水浴場 30 マリンハウス加賀 31 GS 32 松江市役所島根支所 33 島根公館 34 島根博物館 35 島根図書館 36 島根小学校 37 松江島根線 38 澄水川の蛍 39 チエーロード 40 さくら公園 41 野波海滨公園 42 小波海水浴場 43 マリンパーク多古鼻 44 多古の七つ穴

島根町 45 里路川 46 千鈞路川 47 高浜山 48 見徳寺 49 詰坂山 50 三坂山 51 枕木山 52 羅佐加志能為神社 53 日御崎神社 54 綱掛けの松 55 沖泊浦 56 瀬崎成 57 羅佐加志能為神社 58 御輪盲塚 59 松江鹿島美保関線 60 里路川 61 千鈞路川 62 高浜山 63 見徳寺 64 詰坂山 65 三坂山 66 枕木山 67 羅佐加志能為神社 68 日御崎神社 69 綱掛けの松 70 沖泊浦 71 瀬崎成 72 羅佐加志能為神社 73 御輪盲塚 74 松江鹿島美保関線 75 里路川 76 千鈞路川 77 高浜山 78 見徳寺 79 詰坂山 80 三坂山 81 枕木山 82 羅佐加志能為神社 83 日御崎神社 84 綱掛けの松 85 沖泊浦 86 瀬崎成 87 羅佐加志能為神社 88 御輪盲塚 89 松江鹿島美保関線 90 里路川 91 千鈞路川 92 高浜山 93 見徳寺 94 詰坂山 95 三坂山 96 枕木山 97 羅佐加志能為神社 98 日御崎神社 99 綱掛けの松 100 沖泊浦 101 瀬崎成 102 羅佐加志能為神社 103 御輪盲塚 104 松江鹿島美保関線 105 里路川 106 千鈞路川 107 高浜山 108 見徳寺 109 詰坂山 110 三坂山 111 枕木山 112 羅佐加志能為神社 113 日御崎神社 114 綱掛けの松 115 沖泊浦 116 瀬崎成 117 羅佐加志能為神社 118 御輪盲塚 119 松江鹿島美保関線 120 里路川 121 千鈞路川 122 高浜山 123 見徳寺 124 詰坂山 125 三坂山 126 枕木山 127 羅佐加志能為神社 128 日御崎神社 129 綱掛けの松 130 沖泊浦 131 瀬崎成 132 羅佐加志能為神社 133 御輪盲塚 134 松江鹿島美保関線 135 里路川 136 千鈞路川 137 高浜山 138 見徳寺 139 詰坂山 140 三坂山 141 枕木山 142 羅佐加志能為神社 143 日御崎神社 144 綱掛けの松 145 沖泊浦 146 瀬崎成 147 羅佐加志能為神社 148 御輪盲塚 149 松江鹿島美保関線 150 里路川 151 千鈞路川 152 高浜山 153 見徳寺 154 詰坂山 155 三坂山 156 枕木山 157 羅佐加志能為神社 158 日御崎神社 159 綱掛けの松 160 沖泊浦 161 瀬崎成 162 羅佐加志能為神社 163 御輪盲塚 164 松江鹿島美保関線 165 里路川 166 千鈞路川 167 高浜山 168 見徳寺 169 詰坂山 170 三坂山 171 枕木山 172 羅佐加志能為神社 173 日御崎神社 174 綱掛けの松 175 沖泊浦 176 瀬崎成 177 羅佐加志能為神社 178 御輪盲塚 179 松江鹿島美保関線 180 里路川 181 千鈞路川 182 高浜山 183 見徳寺 184 詰坂山 185 三坂山 186 枕木山 187 羅佐加志能為神社 188 日御崎神社 189 綱掛けの松 190 沖泊浦 191 瀬崎成 192 羅佐加志能為神社 193 御輪盲塚 194 松江鹿島美保関線 195 里路川 196 千鈞路川 197 高浜山 198 見徳寺 199 詰坂山 200 三坂山 201 枕木山 202 羅佐加志能為神社 203 日御崎神社 204 綱掛けの松 205 沖泊浦 206 瀬崎成 207 羅佐加志能為神社 208 御輪盲塚 209 松江鹿島美保関線 210 里路川 211 千鈞路川 212 高浜山 213 見徳寺 214 詰坂山 215 三坂山 216 枕木山 217 羅佐加志能為神社 218 日御崎神社 219 綱掛けの松 220 沖泊浦 221 瀬崎成 222 羅佐加志能為神社 223 御輪盲塚 224 松江鹿島美保関線 225 里路川 226 千鈞路川 227 高浜山 228 見徳寺 229 詰坂山 230 三坂山 231 枕木山 232 羅佐加志能為神社 233 日御崎神社 234 綱掛けの松 235 沖泊浦 236 瀬崎成 237 羅佐加志能為神社 238 御輪盲塚 239 松江鹿島美保関線 240 里路川 241 千鈞路川 242 高浜山 243 見徳寺 244 詰坂山 245 三坂山 246 枕木山 247 羅佐加志能為神社 248 日御崎神社 249 綱掛けの松 250 沖泊浦 251 瀬崎成 252 羅佐加志能為神社 253 御輪盲塚 254 松江鹿島美保関線 255 里路川 256 千鈞路川 257 高浜山 258 見徳寺 259 詰坂山 260 三坂山 261 枕木山 262 羅佐加志能為神社 263 日御崎神社 264 綱掛けの松 265 沖泊浦 266 瀬崎成 267 羅佐加志能為神社 268 御輪盲塚 269 松江鹿島美保関線 270 里路川 271 千鈞路川 272 高浜山 273 見徳寺 274 詰坂山 275 三坂山 276 枕木山 277 羅佐加志能為神社 278 日御崎神社 279 綱掛けの松 280 沖泊浦 281 瀬崎成 282 羅佐加志能為神社 283 御輪盲塚 284 松江鹿島美保関線 285 里路川 286 千鈞路川 287 高浜山 288 見徳寺 289 詰坂山 290 三坂山 291 枕木山 292 羅佐加志能為神社 293 日御崎神社 294 綱掛けの松 295 沖泊浦 296 瀬崎成 297 羅佐加志能為神社 298 御輪盲塚 299 松江鹿島美保関線 300 里路川 301 千鈞路川 302 高浜山 303 見徳寺 304 詰坂山 305 三坂山 306 枕木山 307 羅佐加志能為神社 308 日御崎神社 309 綱掛けの松 310 沖泊浦 311 瀬崎成 312 羅佐加志能為神社 313 御輪盲塚 314 松江鹿島美保関線 315 里路川 316 千鈞路川 317 高浜山 318 見徳寺 319 詰坂山 320 三坂山 321 枕木山 322 羅佐加志能為神社 323 日御崎神社 324 綱掛けの松 325 沖泊浦 326 瀬崎成 327 羅佐加志能為神社 328 御輪盲塚 329 松江鹿島美保関線 330 里路川 331 千鈞路川 332 高浜山 333 見徳寺 334 詰坂山 335 三坂山 336 枕木山 337 羅佐加志能為神社 338 日御崎神社 339 綱掛けの松 340 沖泊浦 341 瀬崎成 342 羅佐加志能為神社 343 御輪盲塚 344 松江鹿島美保関線 345 里路川 346 千鈞路川 347 高浜山 348 見徳寺 349 詰坂山 350 三坂山 351 枕木山 352 羅佐加志能為神社 353 日御崎神社 354 綱掛けの松 355 沖泊浦 356 瀬崎成 357 羅佐加志能為神社 358 御輪盲塚 359 松江鹿島美保関線 360 里路川 361 千鈞路川 362 高浜山 363 見徳寺 364 詰坂山 365 三坂山 366 枕木山 367 羅佐加志能為神社 368 日御崎神社 369 綱掛けの松 370 沖泊浦 371 瀬崎成 372 羅佐加志能為神社 373 御輪盲塚 374 松江鹿島美保関線 375 里路川 376 千鈞路川 377 高浜山 378 見徳寺 379 詰坂山 380 三坂山 381 枕木山 382 羅佐加志能為神社 383 日御崎神社 384 綱掛けの松 385 沖泊浦 386 瀬崎成 387 羅佐加志能為神社 388 御輪盲塚 389 松江鹿島美保関線 390 里路川 391 千鈞路川 392 高浜山 393 見徳寺 394 詰坂山 395 三坂山 396 枕木山 397 羅佐加志能為神社 398 日御崎神社 399 綱掛けの松 400 沖泊浦 401 瀬崎成 402 羅佐加志能為神社 403 御輪盲塚 404 松江鹿島美保関線 405 里路川 406 千鈞路川 407 高浜山 408 見徳寺 409 詰坂山 410 三坂山 411 枕木山 412 羅佐加志能為神社 413 日御崎神社 414 綱掛けの松 415 沖泊浦 416 瀬崎成 417 羅佐加志能為神社 418 御輪盲塚 419 松江鹿島美保関線 420 里路川 421 千鈞路川 422 高浜山 423 見徳寺 424 詰坂山 425 三坂山 426 枕木山 427 羅佐加志能為神社 428 日御崎神社 429 綱掛けの松 430 沖泊浦 431 瀬崎成 432 羅佐加志能為神社 433 御輪盲塚 434 松江鹿島美保関線 435 里路川 436 千鈞路川 437 高浜山 438 見徳寺 439 詰坂山 440 三坂山 441 枕木山 442 羅佐加志能為神社 443 日御崎神社 444 綱掛けの松 445 沖泊浦 446 瀬崎成 447 羅佐加志能為神社 448 御輪盲塚 449 松江鹿島美保関線 450 里路川 451 千鈞路川 452 高浜山 453 見徳寺 454 詰坂山 455 三坂山 456 枕木山 457 羅佐加志能為神社 458 日御崎神社 459 綱掛けの松 460 沖泊浦 461 瀬崎成 462 羅佐加志能為神社 463 御輪盲塚 464 松江鹿島美保関線 465 里路川 466 千鈞路川 467 高浜山 468 見徳寺 469 詰坂山 470 三坂山 471 枕木山 472 羅佐加志能為神社 473 日御崎神社 474 綱掛けの松 475 沖泊浦 476 瀬崎成 477 羅佐加志能為神社 478 御輪盲塚 479 松江鹿島美保関線 480 里路川 481 千鈞路川 482 高浜山 483 見徳寺 484 詰坂山 485 三坂山 486 枕木山 487 羅佐加志能為神社 488 日御崎神社 489 綱掛けの松 490 沖泊浦 491 瀬崎成 492 羅佐加志能為神社 493 御輪盲塚 494 松江鹿島美保関線 495 里路川 496 千鈞路川 497 高浜山 498 見徳寺 499 詰坂山 500 三坂山 501 枕木山 502 羅佐加志能為神社 503 日御崎神社 504 綱掛けの松 505 沖泊浦 506 瀬崎成 507 羅佐加志能為神社 508 御輪盲塚 509 松江鹿島

史跡・神社・仏閣 を訪ねる

14 木野山神社

榆木、浜、小具区の神社。本山は岡山県高梁市にあり病気平癒。邪鬼退散等に靈験あらたかで、地元の人たちは親しみを込めて「きのやまさん」と呼びます。明治20年代に猛威を振るったコレラ病の平癒を頼み、本山から分霊して祀ったと伝えられます。境内から大芦湾が一望でき毎年7月6日に例祭が行われます。御神体は、今も3地区の各戸が持ち回りでお守りしています。

15 瑞光寺

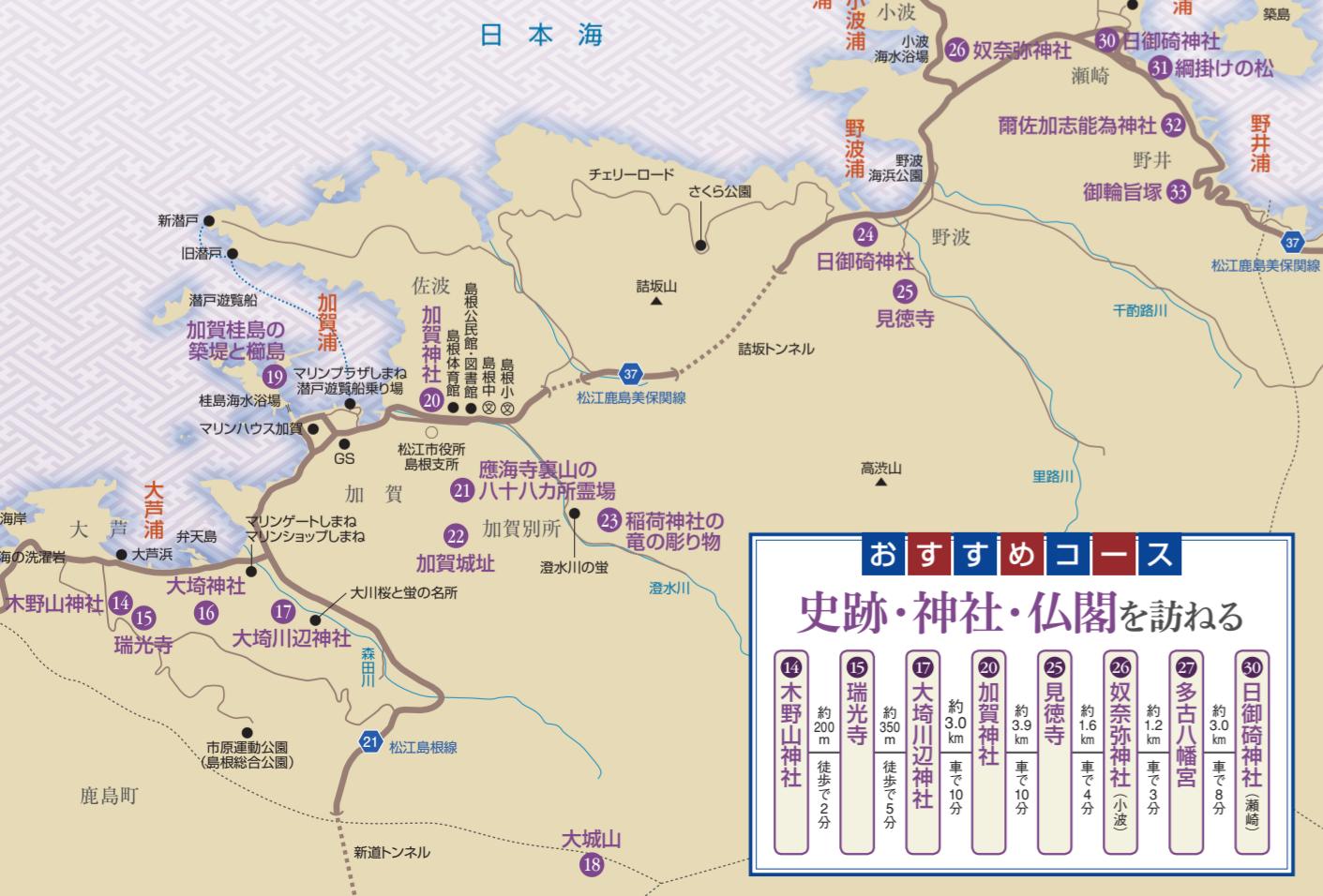
臨済宗妙心寺派。山号は龍興山。大芦浜区の高台に建ち大芦湾が間近に望めます。1655(承応4)年、松江市・萬寿寺の龍開和尚を招請して開山。幾度の火災に遭い、現在の建物は1863(文久3)年に再建されました。本堂に本尊聖観音像、境内には昭和初期に地区住民有志によって創設された新四国八十八カ所が寺を取り込んでいます。同寺第10世山崎大耕和尚は京都大本山相国寺で修行、後に相国寺派最高位の管長を務めました。

16 大崎神社

榆木、海島区の氏神。佐太神社の祭神・猿田彦命の母神の母坂大明神であるとされており、「母坂さん」とも呼ばれています。また現在は統合により廃校になりましたが、古くから隣接する大芦小学校の守り神として崇敬されてきました。毎年10月29日に秋季例大祭が営まれ、能神事が行なわれます。

17 大崎川辺神社

浜、小具、北垣、垣之内、別所区の氏神で、「國主さん」とも呼ばれます。祭神は国産み・神産みの神「伊弉那岐命」で、出雲國風土記には「大崎川邊社」と記されています。境内から日本海が望め、例大祭は毎年11月1日に行われます。鳥居の脇の石垣に巨岩があり、宮前の大川には馬の背の形をした御乗馬石(通称:おんまさん)があります。



20 加賀神社

出雲國風土記によると、加賀神崎の潜戸内に祀ってあったものを後に陸地に移したとあります。海上安全の神様として広く信仰があり、拝殿内には港町として栄えたことを示す大きな船馬が掲げてあります。戦う武者の姿を描いた「武者絵馬」や帆船を描いた「船絵馬」など8点で、特に北前船を描いた船馬は縦1m、横1.76mと大きく、当時の船乗りの信心深さと羽振りの良さを示唆しています。(39と関連)

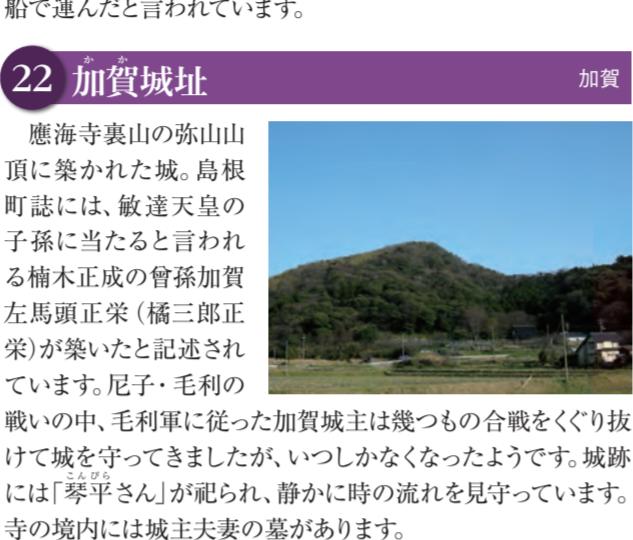


25 見徳寺

野波の臨濟宗南禅寺派の寺院で、山号は峯輝山。創建は約600年前とされるが、火災によって記録が焼失し定かでない。現在の本堂は1897(明治30)年に建てられたもので、当時の名工・石川政右衛門の手により本堂前御拝に咬龍の彫刻、左右に麒麟獅子と牡丹龜の彫り物等が施されています。境内には戦国武将・末次氏2代の墓がひっそりと建っています。(39と関連)

26 奴奈弥神社

小波区を一望できる高台に建つ大吉貴命を主祭神とする神社で、通称「國主さん」と呼ばれ、10月25日に例大祭が営めます。また境内に「お伊勢さん」と呼ばれる小宮があり、毎年2月に行われるお伊勢祭りでは、神のお告げによって豊漁の日を定める「祈り日」神事が今も続いています。(36と関連)



23 稲荷神社の竜の彫り物



24 日御碕神社

海沿いに連なる170戸の集落の西端にあり、建須須佐之男命と、姉神の天照大御神が祀られています。1909(明治42)年に地区内の2社が合祀されて以来、例大祭(10月24日)のほか、御田植祭(1月7日)、祈念祭(4月11日)、神幸祭・ガッチャ祭(10月23日)、新嘗祭(11月25日)など年間を通して祭礼や伝統神事が行われ、住民連帯の寄りどころとなっています。(39と関連)



25 見徳寺

野波の臨濟宗南禅寺派の寺院で、山号は峯輝山。創建は約600年前とされるが、火災によって記録が焼失し定かでない。現在の本堂は1897(明治30)年に建てられたもので、当時の名工・石川政右衛門の手により本堂前御拝に咬龍の彫刻、左右に麒麟獅子と牡丹龜の彫り物等が施されています。境内には戦国武将・末次氏2代の墓がひっそりと建っています。(39と関連)

26 奴奈弥神社

小波区を一望できる高台に建つ大吉貴命を主祭神とする神社で、通称「國主さん」と呼ばれ、10月25日に例大祭が営めます。また境内に「お伊勢さん」と呼ばれる小宮があり、毎年2月に行われるお伊勢祭りでは、神のお告げによって豊漁の日を定める「祈り日」神事が今も続いています。(36と関連)



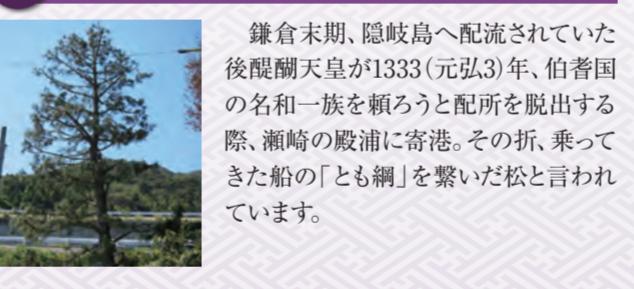
沖泊にある神仏習合の社。神祕の地に靈力ある神がすむと伝えられ、地元の人たちは「こたんがあさん」と呼んでいます。昭和28年に本堂が建立され、日蓮上人七幸童神、多古靈神が祀られています。七幸童神は小谷ヶ原の真向かいにある枕木穴にすんでいたと言われる童神多古靈神は毛利・尼子の合戦で戦死したと伝えられる多胡左衛門尉辰敬であるとされています。今も5月と9月の6日にお祭りがあります。

29 津上神社

沖泊の港を一望する高台に建つ。多古八幡宮と同じく津和野城家老職・多胡外記左衛門丞が浜田市三隅町の八幡宮から分霊を迎えたとされ、海上安全の神として崇められています。祭神は菅原別命と瀬織津彦命で、毎年10月16日に例大祭が行われます。



加賀別所の稲荷神社は、古書によると「京都の宮内・大内義孝外2名がやってきて京都伏見稲荷神社より御分霊を受け、正一位の階位を授かり、櫛屋の里の小氏神として御供奉した」とあります。以降、明治時代の遷宮の時、松江の名工・石川政右衛門により社殿全體に幾重にも組まれた斗組や竜の彫り物が施された豪華な建物で、密かな人気スポットになっています。



鎌倉末期、隱岐島へ配流されていた後醍醐天皇が1333(元弘3)年、伯耆国の大島と喜多郡の名和一族を頼ろうと配所を脱出する際、瀬崎の殿浦に寄港。その折、乗ってきた船の「とも綱」を繋いだ松と言われています。

32 爾佐加志能為神社

野波区で毎年4月21日、各家に祀ってある弘法大師像を5軒ぐらいいずつ宿に持ち寄ってお祭りをしています。明治以降、大切に受け継がれている行事で、見徳寺を1番とし10カ所余りの各宿を四国靈場八十八カ所の札所に見立て、所在を示す道端の小旗を目印に巡礼する地区民や子供たち、また縁側で接待する人たちの和やかな笑顔が広がり終日にぎわいます。

33 御輪塚

古書によると、後醍醐天皇が隠岐から潜行の折、瀬崎の殿浦に寄港された。天皇は忌中のため喪に服していた隣の野井の地頭・宮本又右衛門に食事を所望されたが、又右衛門は不淨の身と言って断った。しかし、天皇は「服喪も27日もなればよいではないか」と許されたとあります。その際、後醍醐天皇が腰掛けられたと伝えられる石碑、又右衛門の子孫・村上家(野井・村上真吉氏宅)の庭先にあります。

伝統行事・祭りを見る

34 荒神祭(ちいなまい)



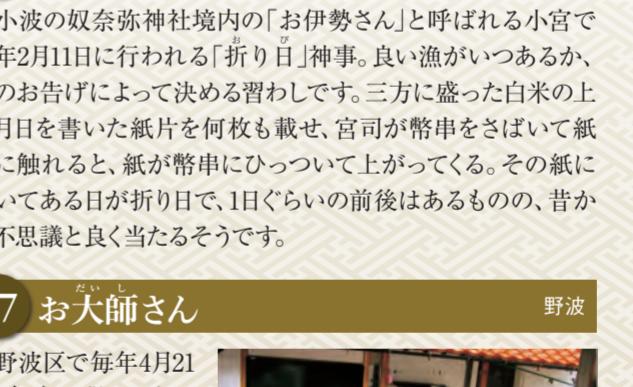
収穫に感謝し、稲藁で「大蛇網」を作る秋の行事。毎年9月~11月に大芦の各区で行われています。新藁で八つ頭のある直径10cm~15cm、長さ10m~50mの網を3つにより編み、中ほどに子ばらみをこしらえて御神酒をかけます。これを住民で担いで荒神山の神木に巻き付け、神官に御祈念してもらいます。昔は子ども達が網を隠そうと、それを取り返そうとする大人との争奪戦が繰り広げられました。大蛇(オロチ)を作った「シボ」人々を叫いて清めます。御神酒の酔いも手伝いにぎやかに地区内を走り回ることからこの名が付いたと言います。

35 墓船神事



加賀浜地区で、20年に一度ある加賀神社の遷宮に繰り出す昔ながらの神事。車輪の付いた木舟船に4本の竿を立て、中に恵比寿様に扮した男の人々が乗っています。若衆が白粉で化粧し、女物の肌襦袢、男帶、バッヂ、足袋を履いた粹ないでたちで、この船を曳いて神社を出発。ほとんど軒並みに家の前で止まり、「伊勢音頭」の太鼓、三味線に合わせて「チョーサ、チョーサ」と掛け声も勇ましく町内を練り歩きます。

36 伊勢神宮祭



小波の奴奈弥神社境内の「お伊勢さん」と呼ばれる小宮で、毎年2月11日に行われる「折り日」神事。良い漁がいつあるか、神のお告げによって決める習わしです。三方に盛った白米の上に月日を書いた紙片を何枚も載せ、宮司が幣串をさばいて紙片に触ると、紙が幣串にひつひつと上がってくる。その紙に書いてある日が折り日で、1日ぐらいいの前後はあるものの、昔から不思議と良く当たるそうです。

37 お大師さん



野波区で毎年4月21日、各家に祀ってある弘法大師像を5軒ぐらいいずつ宿に持ち寄ってお祭りをしています。明治以降、大切に受け継がれている行事で、見徳寺を1番とし10カ所余りの各宿を四国靈場八十八カ所の札所に見立て、所在を示す道端の小旗を目印に巡礼する地区民や子供たち、また縁側で接待する人たちの和やかな笑顔が広がり終日にぎわいます。

38 正月の宮練り

新年を祝う正月行事。そいの法被を着た若者たちが神輿を担ぎ、「若松」の歌に合わせて「チョーサ、チョーサ」と地区内を練り歩きます。若衆が威勢よく浜辺で神輿を練る様は豪快そのもの。沿道では大勢の住民が見守り、その年の無病息災と豊漁、豊作を祈ります。小具・加賀別所・野波・小波、野井・瀬崎・多古、沖泊などで今もぎやかに行われています。



野波の日御碕神社例大祭前日の10月23日、合祀された日吉神社跡地への還行神幸祭が行われ、神輿2基の行列が往復します。この神幸祭を清祓する役を「ガッチャ」と呼び、藁で作った「シボ」人々を叫いて清めます。御神酒の酔いも手伝いにぎやかに地区内を走り回ることからこの名が付いたと言います。主役の「ハナ」、次に「シシ」が続き、各種の面や赤布を被った「ガッチャ」が、逃げ惑う子供たちを追い回す光景が珍しくテレビ等でもよく紹介されます。



野波の見徳寺本堂で、毎年「二十日正月」に108の珠が繋がった大数珠を広げ、輪になつた善男善女が念仏に合わせて「ナンマイダー」と唱えながら回します。大玉が巡ってきた時は、額に当てて無病息災を祈ります。地区的繁栄を願う大切な行事として100年以上続いているが、現在の主な回し手は保育園児と近所のおばあさんたち。その年の区長が鉢をたたき、子供たちに土産を渡します。



盆踊りは、孟蘭盆(8月13~15日)に靈を迎え、送るための「念仏踊り」が起源とされますが、現代は宗教色が薄れ、夏祭りイベントの一つとなっています。ひと昔前は校庭などにぐらを組み、大勢の人が明かりの下で夜通し踊っていましたが最近は各区ごとに実施されています。花火は13日に大芦、14日に野井・瀬崎区合同で打ち上げられ、夏の夜の風物詩として住民や帰省客を楽しめています。



漁師が大漁を祝い、浜で酒を酌み交わしながら威勢よく歌った「旗御舞節」を起源とし、島根半島全域で歌われています。昭和60年代に野井区の同好会が船と地引き所作を取り入れ、主に町内で披露していました。その後、島根町大漁節保存会が結成され、平成23年に全日本民謡指導者研究集会の普及に採用され、CDが発売されました。また静岡県で開催された民謡集会に町内から数名が派遣され指導に当たるなど、今や全国版になりつつあります。